

## 第77回マチコミリサーチ 『親子間のコミュニケーションについて』

ドリームエリア株式会社は、無料の緊急連絡網ツール『マチコミメール』を利用している保護者の方々を対象に、『親子間のコミュニケーションについて』のアンケートを実施いたしました。

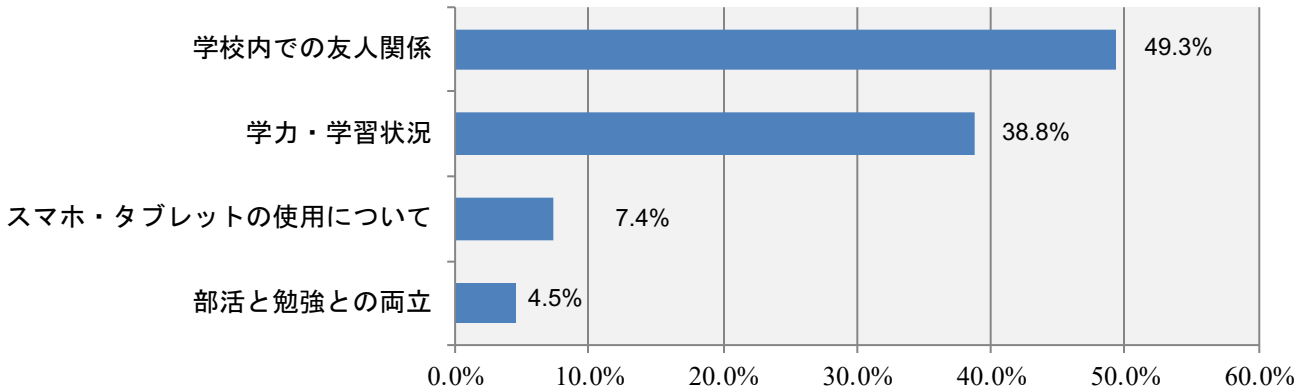
### <調査概要>

調査期間	2019年2月1日(金)～2月5日(火)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	全国の小学校・中学校・学童のマチコミメール会員
調査対象数	1,118,913名
有効回答数	19,813件

### <質問項目>

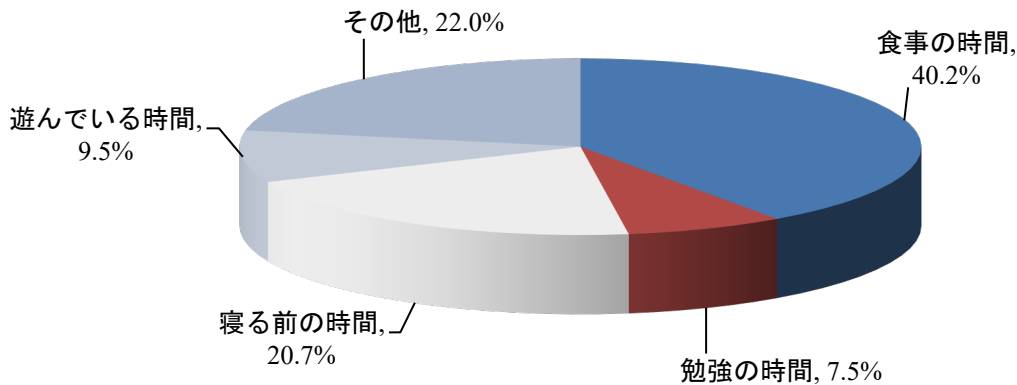
1	お子さまの学校での悩みで一番不安に感じることはなんですか？
2	質問1の悩みについてお子さまと一緒に話す時間が多いのはどの時間ですか？
3	お子さまももっとコミュニケーションを取りたいと感じますか？
4	仕事やパートをセーブしてお子さまの教育・勉強に関わりたいと思ったことはありますか？ (仕事をしていない方は想定でお答えください)
5	短時間でわが子に勉強を教える仕事があった場合、教えやすい教材だと感じれば始めてみたいと思いますか？
6	教育教材が代表的な学研グループが運営する学研教室の先生は、子どもの学習をサポートするお仕事。子育て中のママが大活躍中。週2回、1日3～4時間程度から始められますが、ご興味はありますか？

**質問1: お子さまの学校での悩みで一番不安に感じることはなんですか？**



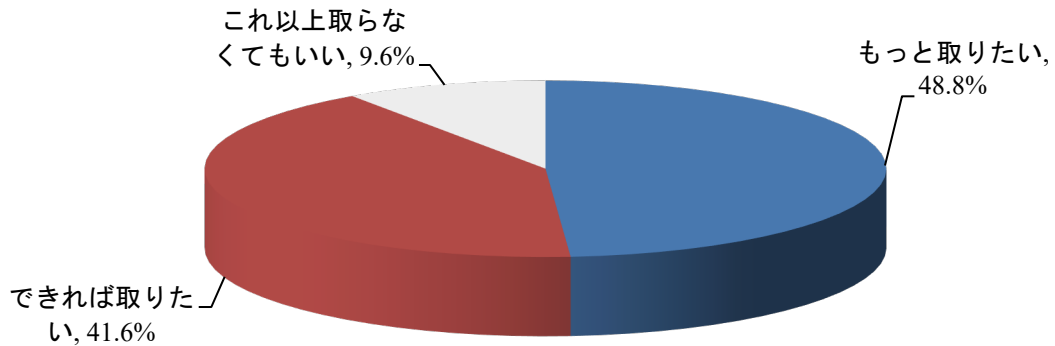
勉強と人間関係に関する悩みに回答が集まりました。子どもの世界はどんどん広がり、様々な壁にぶつかります。悩みは尽きませんが、意外と本人よりも保護者の方が不安に感じているケースも多いのかもしれない。

**質問2: 質問1の悩みについてお子さまと一緒に話す時間が多いのはどの時間ですか？**



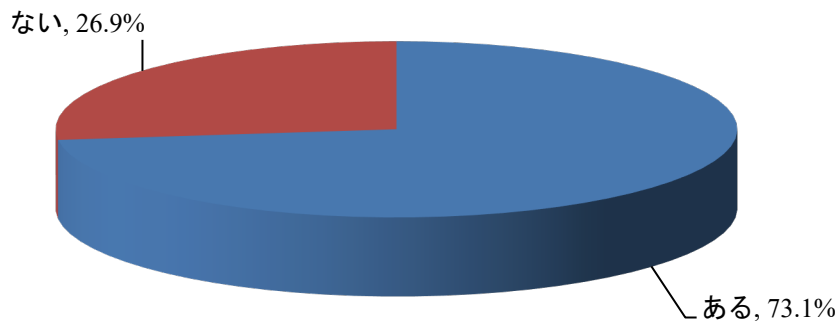
比較的ゆっくりと時間が取れる「食事の時間」が圧倒的に多い結果に。次いで「寝る前の時間」でした。特別に時間を作るより、日常生活の中でコミュニケーションをとっていく方がほとんどのようです。しかし、外に働きに出ている場合、話す時間を見つけることに苦労されている方も多いのではないのでしょうか。

**質問3: お子さまもっとコミュニケーションを取りたいと感じますか？**



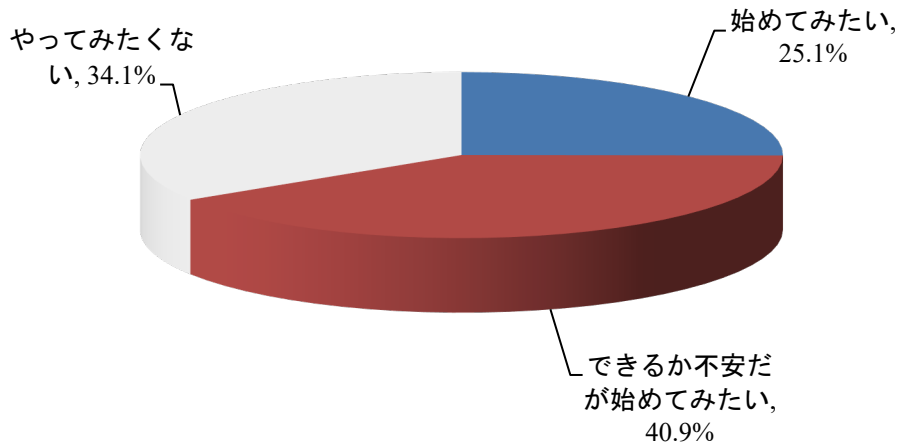
9割を超える方が「もっと取りたい」「できれば取りたい」と感じているようです。忙しい日常の中で、コミュニケーションが足りていないと感じている方が多いようです。時間はいくらあっても足りませんね。

**質問4: 仕事やパートをセーブしてお子さまの教育・勉強に関わりたいと思ったことはありますか？ (仕事をしていない方は想定でお答えください)**



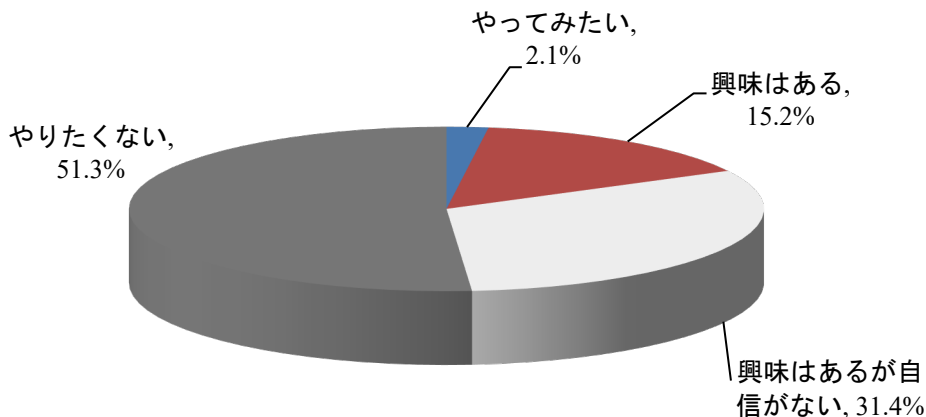
「ある」の回答が7割を超えました。勉強は一度つまずいてしまうと取り戻すのが大変。学校生活そのものに対する意欲を失いかねません。勉強のサポートは日常的に行っていく必要があるので、場合や時期によっては働き方を見直すという選択肢もあるかもしれません。

**質問5: 短時間でわが子に勉強を教える仕事があった場合、教えやすい教材だと感じれば始めてみたいと思いますか？**



「できるか不安だがやってみたい」という方が40%を超え一番多い結果に。教えてあげたいけれど、保護者の方にも不安があることがわかりました。「始めてみたい」と回答された方も約25%いらっしゃいました。子どもへの教え方や問題の考え方を丁寧に説明してくれる教材もあるので、ぜひチャレンジしてみてもいいのでは？

**質問6: 教育教材が代表的な学研グループが運営する学研教室の先生は、子どもの学習をサポートするお仕事。子育て中のママが大活躍中。週2回、1日3～4時間程度から始められますが、ご興味はありますか？**



興味があるという回答が半数近くになりましたが「興味はあるが自信がない」と不安がある方も多いようです。初めてのことは不安ですが、学研教室は教材やサポート体制も充実しています。ライフスタイルに合わせて働くことができ、自分のお子さまの勉強にも関わられるお仕事。この春、思い切って働き方を見直してみたいかかでしょうか？

## まとめ

今回は「親子間のコミュニケーション」についてお聞きしました。お子さまの生活の中心となる学校での時間。大きくなるにつれ、勉強に人間関係に保護者に言い出しにくい悩みも増えてくるものです。保護者としては、一番の理解者として忙しい中でも可能な限り優先したい「お子さまとの時間」。たくさん触れ合い、話しをしてお子さまの悩みに寄り添ってあげたいですね。